



きこえとことばの教室便り

佐世保市立清水小学校 きこえとことばの教室 No. 1

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、入級式が中止になり、指導も開始できていない状況が続いています。通級を予定されている保護者さんにとっては、いつになったら指導が始まるのか・・・、また、安全に指導してもらえるのかなど、不安なお気持ちでおられることと思います。私たち担当者も、一日でも早く新型コロナウイルス感染症が終息することを願いつつ、通級指導の準備を進めております。

実際にお子さんを指導し、保護者さんといろいろなお話をしたいところなのですが、それが今のところ叶いませんので、しばらくは「きこえとことばの教室便り」を作成し、ホームページにて情報を発信していきたいと思っております。

さて、この第1号では、きこえとことばの教室はどんなところかを紹介し、参考までに、どのようなお子さんが通級され、どのようなことを取り組んでいるのかをお知らせしたいと思います。

きこえとことばの教室ってどんなところ? (その1)

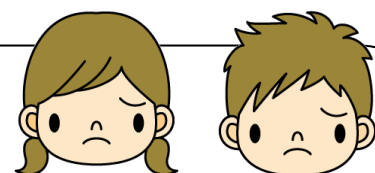
「きこえとことばの教室」には

きこえやことばに心配があったり、困ったりしているお子さんたちが通ってきています。

例えば、

- 話の聞き誤りや聞き返しなどが多いお子さん。
- テレビの音を大きくしたり、耳を近づけたりして聞くお子さん。
- カラスをタラス、お母さんをオタアタンと言うなど、苦手とする発音があるお子さん。
- 会話が不明瞭なお子さん。
- ことばがつまったり、ことばを繰り返したりすることがあるお子さん。
- 声が鼻に抜けたり鼻にかかったりして、ききとりにくい話をするお子さん。

などです。



こうしたことでコミュニケーションがうまくいかないと…

- 話してもわかってもらえない
- 話すたびに緊張する、不安になる。
- 話したり、聞いたりする自信がない。
- 人とかわかりたくない。

というような思いをもちやすくなります。

そこで、きこえとことばの教室担当の私たちは、

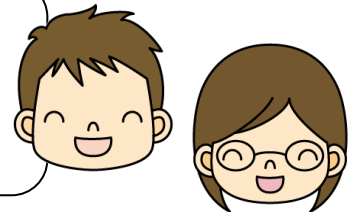
お子さんが安心してお話できる教室になるように、
お子さんのよさを認めながら、ことばや、ことばにならないことばから、
お子さんの思いを読み取り、伝え返していきます。



こうしたかわりにより、通じ合えた経験から、お子さんの心に

わかってもらえたうれしい！
ここなら大丈夫、安心
通じ合うって楽しい、おもしろい。

もっともっと話したい！
よく聞けばわかる。
話せばわかってもらえる。



というように安心感が広がり、意欲がわいて、自信がついていきます。

そうして、きこえやことばの心配や困っていることが少なくなっていくます。

また、困っていることがなくならなくても、そのお子さんらしく、思い通りにコミュニケーションができるようになっていくように支援をしています。

参考文献：世田谷区立駒沢小学校 きこえとことばの教室 週刊あべ便り

では、こうした支援・学習はどのように行っているの？は…

次のお便りで、お知らせいたします。

ちよこ

クイズ きこえとことばの教室

Q：清水小学校にある、きこえとことばの教室名は、

「さくら」「もみじ」「いちょう」の他になにがあるかな？

ヒント：ちょっと笑います。

